

(別紙様式)

平成26年度男女共同参画推進モデル校取組実績報告書

高 専 名	富山高等専門学校
取 組 組 織	<pre>graph TD;   Principal[校長] --- Committee[女性スマイル・アップ推進委員会];   Principal --- DeptHead[事務部長];   Committee --- VicePrincipal[副校長(委員長)];   VicePrincipal --- Members[委員];   Members --- MembersList[男性教員3名、女性教員5名 男性職員2名、女性職員3名];</pre>
取 組 責 任 者	副校長 成瀬喜則
取 組 期 間	平成26年4月～平成27年3月

○取組概要と成果目標

- ・高専が職場環境として整備され、教育・研究をバランスよく行うことができる環境であることを、女子学生、女性研究者に対して説明するためのガイドブック（仮称：高専女性教員へのロードマップ）の作成を目指し計画を立てる。
- ・安全かつ快適な就労環境の改善を図り、女性教員の就労環境への満足度を向上させる。
- ・近隣大学の女子大学院生に対し、高専の教育研究環境を体験してもらいインターンシップ制度を積極的に展開する。
- ・講演会等を開催し、男女共同参画及びワーク・ライフ・バランスへの意識向上を図る。
- ・モデル校取組期間中の女性教員の採用数を採用教員数の20%とする。

○取組の達成状況及び他高専への波及効果

平成26年度は主として「高専女性教員へのロードマップ（仮称）」作成のための他高専女性教員へのインタビューを実施し、述べ9名の教員から話を聞くことができた。今後は本校女性教員にもインタビューを行ったうえで内容を整理し、掲載するコンテンツに応じた編集作業に入る予定である。

就労環境の改善に向けては、本校の全女性教員を対象とした「女性教員ミーティング」を開催し、各キャンパスの実情を情報共有するとともに、環境改善への要望事項をとりまとめ、関係委員会へ提言する形で働きかけを行った。

また、今年度は本校の取組内容を県や市がHP等で知ることにより、連携して事業を行う動きがあったことから、今後も自治体や近隣の教育機関とのさらなる連携の可能性が広がった。

女性教員比率は、平成23年4月現在は13%だったが、平成26年3月現在で14%、教員採用者における女性の比率は平成26年度3割に達する等、着実に向上している。

## ○取組実績の説明

### (1) 女性教員の比率向上及びキャリア形成支援を図る取組

- ・「高専女性教員へのロードマップ（仮称）」作成に向けた他高専女性教員へのインタビュー及び工程表の作成
- ・富山高専インターンシップの実施（平成 27 年 1 月，富山大学大学院生 1 名を受入）
- ・「女性教員の早期採用システムの構築とその学位取得支援」に向けた他機関への訪問調査及び論点の検討



### (2) 女子学生及び女性教職員のための安全かつ快適な修学・就労環境の改善を図る取組

- ・高専女子フォーラム（8/25）における来場者（高専教員）へのアンケート調査実施
- ・過去に実施したチェックリストの分析，女性教員ミーティングの実施（11/13）等による改善事項の洗い出し
- ・各キャンパスの環境整備への要望取りまとめ及び施設・設備整備委員会への提言
- ・結婚・出産・育児・介護に関係した各種制度についてまとめた「各種制度案内」リーフレットの作成及びスマイル・アッププロジェクト HP への掲載

### (3) その他男女共同参画推進のための取組

- ・高専祭での企画展示による本校の取組紹介（5/17～18）
- ・「スマイル・アッププロジェクト フォトギャラリー」の開催（3/2～16）  
※応募者 10 名，17 作品 両キャンパスで同時開催
- ・「教員向けライフデザイン講座」（富山県と連携）の開催（3/3）  
※TV 会議システム利用，出席者 60 名



## ○実施上の問題点

女性教員の早期採用システムの構築とその学位取得支援の取り組みについては，採用職種，任期採用した場合の期間など整備が必要な問題が多くあり，今後早期採用システム構築に必要な環境を整理して可能性を検討していきたい。